

特許申請中

断熱材使用ゼロ

夏場エアコン

0

熱中症

0

低体温症

0

を目指したトップヒートバリアーによる室内環境

遮熱住宅
体感モデル棟
建設中

TOP HEAT BARRIER

遮熱住宅



ゼロエネルギーシステム

トップヒートバリアー

+

空気

+

形状記憶合金ユニット

より自然に近い室内環境

夏場エアコン使用0%

超日陰

高温ストレス最小化

輻射熱の放射率12%

熱中症、アセモ、冷房病

建物の耐久性

防水性100%

壁内結露、表面結露

低温ストレス最小化

輻射熱の反射率88%

低体温症



しかも

年間省エネ80%



日本遮熱株式会社



? 遮熱住宅とは

遮熱住宅は、工場や店舗等大型の建物の屋根のみで省エネ60%を実現した“遮熱鋼板ラップ工法”と室内のビニールクロスの代替品で貼るだけで省エネ50~60%が実現する“省エネクロス50システム”とを合作した工法で、気温が上昇しても自然に近い室内環境をつくる事が出来る健康住宅です。従って、子供さんからお年寄りまで安心して生活できるだけでなく、年間を通して省エネ80%が期待でき経済的にも大きなメリットがあります。

屋根だけで省エネ60% /

遮熱鋼板ラップ工法



貼るだけで省エネ50% /

省エネクロス50



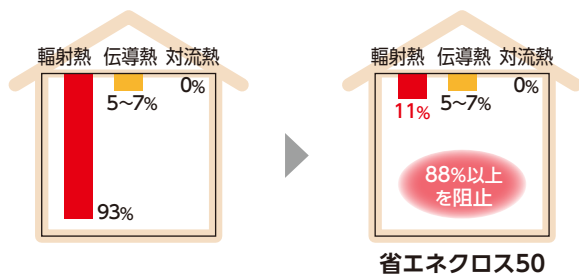
合作

年間省エネ
80%

point
1

熱中症の最大要因を排除

気温25℃夏日、屋外に出ると汗が噴き出るような暑さを感じます。体温36.5℃より11.5℃も低いのに暑いのは太陽からの輻射熱の影響で、熱中症にかかり易い環境と言えます。室内でも同様で、室温は低くても熱中症にかかりやすいのは二次輻射熱が大きく影響します。省エネクロス50システムは、天井からの輻射熱の88%以上を阻止しますので結果的に僅かに11%程度に減少させます。



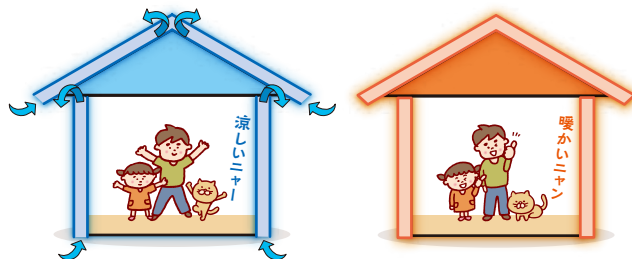
point
2

遮熱住宅の涼しさ温かさの秘密

外壁の内側にはトップヒートバリアーが、更にその内側には空気層が設けられていて、熱の出入りを阻止します。通気層は、+18℃で全閉、+28℃で全開する形状記憶合金ユニットにて24時間壁温コントロールします。従って、暑い時室内の周りは通気されていますが、涼しくなると逆に保温層になります。

夏は通気 ダブル低放射

冬は保温 ダブル反射



point
3

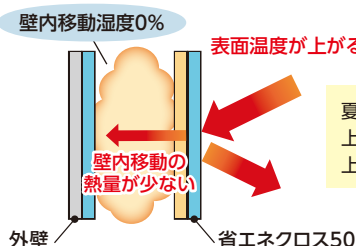
結露のない訳

① 表面結露

壁面を移動する熱の65~80%は輻射熱、省エネクロス50はその88%を反射、壁面の表面温度は低下しませんので結露の発生は在りません。

② 壁内結露

省エネクロス50は、100%湿気を透さない事、通気層内は静止空気保温されているので結露の発生は在りません。



夏場も、遮熱による室内設定温度の上昇により省エネクロス50温度も上昇、結露しにくい環境になる

point
4

ゼロエネルギーシステム

自然に近い室内環境や年間省エネ80%等を実現できる原動力は、何と空気、トップヒートバリアー、そして形状記憶合金ユニットの3点で全くエネルギーを必要としません。



形状記憶合金ユニット

お問い合わせ

日本遮熱株式会社

〒326-0843 栃木県足利市五十部町185-2
✉ E-mail : nihonshanelu@topheat.jp

TEL

0284-22-8740

営業時間 9:00~18:00(土・日・祝日を除く)

